

令和元年度

事業報告書

特定非営利活動法人ICT救助隊

1 事業の成果

令和元年度は難病コミュニケーション支援者養成講習の開催により支援者の底上げを図るとともに、難病患者のコミュニケーション支援のための出張サポートおよび個別相談などにより、個別の患者への支援を行った。

講習会事業では、厚生労働省補助事業などの支援を受けて、全国各地で開催することができた。自治体や患者団体、大学などからの講座開催の依頼も多く、ニーズが大きいことがわかる。

2018年から開催している、患者自身に自分について語ってもらう「自分をプレゼン！」というイベントについては、年2回の定期開催と全国での展開を目指し、大学や自治体、患者団体など多くの団体と共催して開催ができるようになってきた。より広く支援者を集めることを目的にイベントの実行委員会を立ち上げ、ICT救助隊は協力団体として独立性を高めた。

2月、3月は新型コロナウイルスの広がり、予定していた講習会やイベントが開催できなくなりました。そのため、講義の映像化やテキストのデータ化などをすすめ、ホームページでの公開を行っている。次年度はオンラインを利用した講習会やイベントの開催を目指したい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
パソコン等講習事業	難病患者、障害者等へのコミュニケーション支援機器、パソコン、携帯電話など情報機器を操作する等の技術習得を援助する講習	9月28日 12月14日	花の家	4名 4名	障害・難病当事者	14名 10名	—
支援者養成講習事業	難病患者、障害者等へのコミュニケーション支援機器、パソコン、携帯電話など情報機器を操作する等の技術習得を援助する人材を育成する講座 ・NEC 難病コミュニケーション支援講座 ・令和元年度厚生労働省補助事業「難病患者サポート事業」 1) 患者(相談)支援事業 ④「重症難病患者のコミュニケーション支援者養成講座」	6月23日 7月13日 8月4日 9月7日～8日 9月21日～22日 9月29日 10月24日 2月22日 2月25日 2月27日 7月25日 8月8日	東京(東京都 障害者福祉会館) 千葉 大阪 福島 千葉 千葉 佐賀 佐賀 佐賀 東京(東京都 障害者福祉	7名 8名 2名 7名 8名 5名 3名 5名 2名 1名 1名 1名 1名 1名	医療、介護、福祉関係の支援者や当事者、家族など	51名 49名 6名 45名 46名 20名 20名 40名 10名 4名 23名 2名 6名 15名	2,035

		8月29日	会館)	1名		23名	
		9月12日	〃	1名		16名	
		9月16日	〃	7名		20名	
		9月26日	〃	1名		10名	
		10月10日	〃	1名		12名	
		10月24日	〃	1名		15名	
	大学	4月15日	昭和大学	5名		87名	
		6月21日	首都大学東京	5名		82名	
		6月28日	東京純心大学	3名		52名	
		9月23日	横浜リハ専	4名		70名	
		12月16日	東京医療保健大学	5名		100名	
	・その他	5月28日	箱根病院	1名		15名	
		7月10日	品川医師会	2名		10名	
		8月4日	川崎市	2名		20名	
		8月31日	静岡県浜松	5名		80名	
		10月5日	京都	2名		15名	
		10月6日	兵庫県	2名		60名	
		10月26日	熊本	2名		50名	
		～27日		2名		50名	
		11月2日	日本難病看護学会研修会	1名		30名	
		11月23日	東京城南地区	5名		30名	
		12月13日	神奈川県三崎保健所	2名		21名	
		12月28日	東京	1名		8名	
		1月10日	京都	2名		40名	
		～11日		2名		60名	
		1月25日	長野	4名		30名	
		2月15日	京都	2名		30名	
出張サポートおよび個別相談事業	難病患者、障害者等へのコミュニケーション支援機器、パソコン、携帯電話など情報機器を操作する等の技術習得を援助する出張サポートあるいは個別相談を行う事業。	随時	患者宅、病院等	100名	患者当事者	47名	26
生活支援、外出補助事業	難病患者・障害者を含む一般市民の日常生活における家事援助等日々の生活支援、及び外出補助を行う事業	—	—	—	—	—	—
イベント事業	難病患者・障害者の社会参画を援助し、QOL(生活の質)を高めるための講座、イベント等を行う事業 ・自分をプレゼン!	4月20日 11月3日	明治学院大学 福島県郡山市	37名 20名	医療、介護、福祉関係の支援者や障害・難病当事者、家族など	187名 185名	—

技術開発、普及事業	難病患者、障害者を含む一般市民の生活およびコミュニケーション、IT 環境をサポートするための新技術開発、研究、普及に関する事業。	随時	スイッチ、インターフェース等製作	30名	医療、介護、福祉関係の支援者や障害・難病当事者、家族など	400名	1,034
社会参画、就労支援事業	難病患者、障害者等の社会参画を援助し、職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する事業。	—	—	—	—	—	—
その他事業	その他上記の事業の目的を達成するために必要な事業	—	—	—	—	—	—